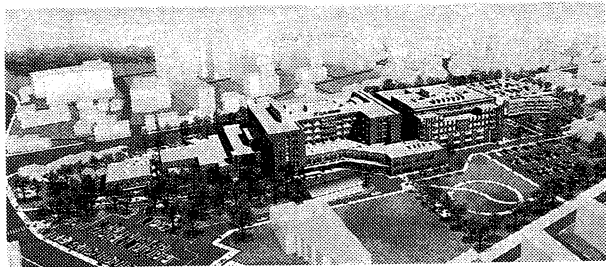


埼玉病院 新外来・新病棟、立体駐車場

清水、JFEシビルで起工

設計・監理＝大建設計



完成予想

国立病院機構埼玉病院が計画した同病院新外来・新病棟等新築整備工事と立体駐車場の設計・監理は大建設計、施

工は建築を清水建設、電気設備を関電工、機械設備を日比谷総合設備が担当。立体駐車場整備工事の設計・施工はJFEシビルが担当する。

神事では、刈初之儀(鎌)を大建設計の菅野尚教取締役専務執行役員(穿初の儀(鍬)を同病院の関塚永一院長、同

(鋤)を清水建設の山中庸彦常務執行役員関東支店長とJFEシビルの森田昌敏常務が行い、工事の無事故・無災害を祈念した。

新外来・新病棟等新築整備工事はS造6階建て延べ約2万3850平方メートルの新外来・新病棟の新築のほか、既存建

物改修・解体を行う。病床数は現行の350床に200床増床し、550床となる。医療環境のさらなる充実で地域の信頼に込める考えだ。立体駐車場の収容台数は510台(自走式4層5段)。

齊藤正所長(清水建設)の話

地域の医療を担う施設であることを踏まえ、安全面に十分に配慮する。病院が取り組まれているPDCA(計画・実行・評価・改善)は現場管理する上でも重要なことのため、実践していく。

栗原拓郎所長(JFEシビル)の話 患者・病院関係者、近隣の皆さんなどに十分配慮するとともに、他工区との工程調整を徹底しながら安全第一で施工を進める。



鎌入れの菅野専務



鋤入れの森田常務



鋤入れの山中支店長

